

徳島県立病院医療安全対策委員会

- 開催日時：平成31年1月28日（月）午後6時55分から午後8時45分まで
- 場 所：徳島市医師会館 4階 会議室
- 出席者：

（委員）

会 長	一般社団法人徳島県医師会常任理事（医療安全担当）	石本 寛子
副会長	徳島大学病院 副院長兼安全管理部長	加藤 真介
	徳島大学大学院 医歯薬学研究部教授	岩佐 幸恵
	弁護士	田中 浩三
	公益社団法人徳島県看護協会 第一副会長	木田 菊恵
	一般社団法人徳島県薬剤師会 医療安全対策委員	中井 久美
	徳島赤十字病院看護係長	津島 史恵

（病院局）

所 属	職 名	氏 名
病院局	病院事業管理者	香川 征
	病院局長	延 良朗
病院局総務課	課長	林 博信
	副課長	住田 優二
	課長補佐（政策調整担当）	八木 雅史
中央病院	院長	西村 匡司
	副院長（医療安全センター長）	前川 正彦
	副院長	美馬 敦美
	事務局長	松浦 博
	看護局次長（医療安全センター副センター長）	豊野 弥生
	事務局次長（医療安全センター副センター長）	掛田 英樹
三好病院	院長	住友 正幸
	事務局長	富久 実
	看護師長（医療安全センター副センター長）	武内恵美子
海部病院	院長	坂東 弘康
	事務局長	島尾 竜介
	副看護師長（医療安全センター副センター長）	古内 佐和

●会議の概要

1 開会

2 香川病院事業管理者あいさつ

3 議事

(1) 会長の選任及び副会長の指名について

会長には石本委員が選任され、副会長には加藤委員が指名された。

(2) 県立病院における医療安全対策の取組みについて

医療安全対策の取組みについて各病院から説明があり、その後質疑・意見交換を行った。

○質疑

- ・転倒転落の危険度の高い患者への介入に関する各病院の状況について
- ・診療科同士の安全対策の連携に関する各病院の状況について

○意見

- ・転倒転落のリスクであるせん妄に対しては看護だけでなく、医師やリハビリテーションとの連携が重要である。
- ・アセスメントスコアを統一したということなので、今後3病院で協力して防止対策を研究してほしい。

(3) 平成29年度県立病院における医療事故の包括的公表について

①インシデント・アクシデントの件数について

包括的公表案について事務局から説明があった。(質疑なし)

②アクシデントの概要及び再発防止策について

包括的公表案について事務局等から説明があり、その後質疑・意見交換を行った。

○質疑

- ・アクシデント件数の集計方法について
- ・持参薬に対する注意喚起や対応策の内容について
- ・アクシデントのレベル判定の考え方について

○意見

- ・病理検査におけるアクシデントは結果が重大なものにつながりやすいので、例えば同じ部位の標本の番号は連番にしないなど、慎重に対策を検討すべきである。
- ・薬剤の重複投与については看護師の知識不足が原因であり、もっと早く薬剤師が関わるべきだと思われるので、再発防止策はその観点からも検討してほしい。
- ・患者からの訴えがあれば、間違いがないか改めて確認するという体制を、日々の行動の中にどうやって落とし込んでいくかが重要である。
- ・病理検査のアクシデントについては、違う目で点検するなどリスクを減らす仕組みが必要であり、さらに対応策を追加してほしい。
- ・ヒューマンエラーは起こりうることなので、系統的に医療ミスを防止できるものを研究して取り入れていくことも必要である。

○決定事項

- ・包括的公表案について原案どおりで決定された。

(4) その他

なし

4 香川病院事業管理者 閉会あいさつ

5 閉会